

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-187346

(43)Date of publication of application : 22.07.1997

---

(51)Int. CI.

A47C 11/00

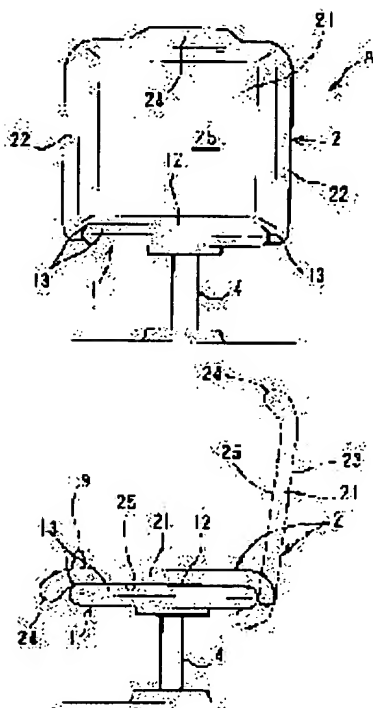
---

(21)Application number : 07-354473 (71)Applicant : TAKIRON CO LTD

(22)Date of filing : 30.12.1995 (72)Inventor : IKEDA TAKAYUKI

---

(54) CHAIR



(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent wetting with rainwater, or contamination by waste, dust, bird excrements, or the like during non-usage time by composing a backrest part to cover an upper surface and side surfaces of a seat part in a fallen attitude, and providing a back surface of the backrest part with water-proofing performance and corrosion resistance.

SOLUTION: A back plate part 21 of a backrest part 2 is formed in such sizes as to cover almost the whole

body of an upper surface 12 of a seat part 1, and the backrest part 2 is composed to cover almost the whole body of the upper surface 12 when it is fallen forward about a hinge part to be set in a fallen attitude. In addition, a right and a left side plate parts 22 and a swollen part 24 are composed to cover almost the whole body of side surfaces 13 when the backrest part 2 is set in the fallen attitude. A

surface 23 of the backrest part 2 is provided with water-proofing performance and corrosion resistance by use of material such as enamel or ceramic. The upper surface 12 of the seat part 1 and the backrest part 2 can be thus be prevented from wetting with rainwater, or being contaminated by waste, dust, bird excrements, or the like while nobody is seated on it.

---

#### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-187346

(43) 公開日 平成9年(1997)7月22日

(51) Int. Cl.<sup>6</sup>  
A 4 7 C 11/00

識別記号 片内整理番号

P I  
A 4 7 C 11/00

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 8 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平7-354473

(22) 出願日 平成7年(1995)12月30日

(71) 出願人 000108719

タキロン株式会社

大阪府大阪市中央区安土町2丁目3番13号

(72) 発明者 池田 隆之

大阪市中央区安土町2丁目3番13号 タキ  
ロン株式会社内

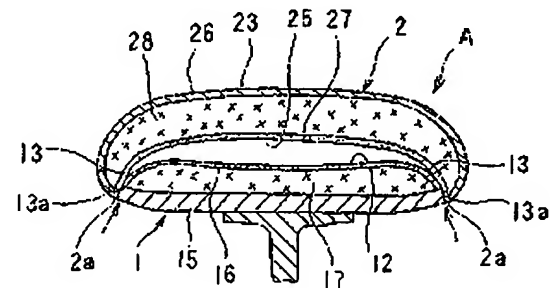
(74) 代理人 弁理士 永田 久喜

(54) 【発明の名称】 椅子

(57) 【要約】

【課題】 広場や公園、駅のホーム、バス停などに設置する椅子を清潔に維持する。

【解決手段】 座部1に背もたれ部2を取り付ける。背もたれ部2は起立姿勢と倒伏姿勢との間で起倒可能である。背もたれ部が倒伏姿勢になっているときには、座部1が背もたれ部2によって覆われて、座部1の上面や側面がゴミや埃、雨水などによって汚れないようにする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】背もたれ部が座部周辺から立ち上がる起立姿勢と座部に重なる倒伏姿勢との間で起倒可能に構成されてなる椅子において、

背もたれ部が、倒伏姿勢のときに座部の上面および側面を覆うと共に、背もたれ部の背面が防水性と耐腐蝕性を有することを特徴とする椅子。

【請求項2】背もたれ部が倒伏姿勢のときに座部の側面と背もたれ部の内側面の一部または全部が密閉状態に重なり合う請求項1に記載の椅子。

【請求項3】起立姿勢での背もたれ部の上部がヘッドレストとなる請求項1または請求項2に記載の椅子。

【請求項4】背もたれ部の背面素材に防水性と耐腐蝕性とを有する材料が用いられている請求項1に記載の椅子。

【請求項5】背もたれ部の背面の防水性が、その背面に施された防水処理によって付与されている請求項1に記載の椅子。

【請求項6】背もたれ部の背面の耐腐蝕性が、その背面に施された耐腐蝕性処理によって付与されている請求項1ないし請求項5のいずれかに記載の椅子。

【請求項7】地面から立設された脚体に座部が固定されている請求項1ないし請求項6のいずれかに記載の椅子。

【請求項8】背もたれ部を倒伏姿勢と起立姿勢との間で起倒するための把手がその背もたれ部に設けられている請求項1ないし請求項7のいずれかに記載の椅子。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、主に屋外に設置される椅子に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、公園や広場、バス停などのような屋外の人の集まる場所には一時的な休憩用や時間待ち用などの目的で、天然石材や木材などで作った長椅子状の椅子や簡素なベンチなどが設置されている。ところが、屋外に設置された椅子は、雨水に濡れていたり、風雨にさらされていたり、鳩や鳥などの鳥の糞が付着したりして汚れていることが多いため、折角その場所に椅子やベンチがあってもそれに腰掛けることのできない場合が多かった。また、従来の屋外用の椅子は、雨水に濡れることや汚れることを前提としているため、その座部や背もたれ部に布地やレザー状の素材を使うことができず、また、クッション性のよい構成にしても、雨ざらしになっているために短期間で使用不能となることが多く、経費性の面でも得策ではなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、我が国の現状に鑑みても、あるいは我が国の近い将来を想像しても、急速な高齢化によって老人人口が激増することは

確実で、広場や公園、待合所、バス停、鉄道駅のホームなどといった人の集まる場所に、老人や身障者が安心して腰掛けることのできる清潔で座り心地のよい椅子を設置しておくことは、ほんとうの豊かさを目指す我が国にとっては必要な対策である。

【0004】本発明は以上の事情に鑑みてなされたものであり、特に座面や背もたれ面が人の座っていない間（非使用時）に雨水に濡れたり、ごみや埃、鳥の糞などで汚れたりすることを防ぐことのできる椅子を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明に係る椅子は、背もたれ部が座部周辺から立ち上がる起立姿勢と座部に重なる倒伏姿勢との間で起倒可能に構成されてなる椅子において、背もたれ部が、倒伏姿勢のときに座部の上面および側面を覆うと共に、背もたれ部の背面が防水性と耐腐蝕性を有する、というものである。

【0006】この構成で、非使用時に背もたれ部を倒伏姿勢にしておくと、その背もたれ部によって座部の上面や側面が覆われるので、座部が雨水に濡れたり、ごみや埃、鳥の糞などで汚れたりすることがなくなり、同時に背もたれ部の背もたれ面についても濡れたり汚れたりすることがなくなる。特に、背もたれ部の背面が防水性と耐腐蝕性とを有するので、雨水が背もたれ部を浸透して背もたれ面や座面に達することがなくなってそれらの箇所がまったく濡れないで済む。そのため、背もたれ部を起立姿勢にして座部に腰掛けようとするときには、いつも座面や背もたれ面が清潔に保たれていることになる。

【0007】本発明の椅子においては、上記背もたれ部が倒伏姿勢のときに座部の側面と背もたれ部の内側面の一部または全部が密閉状態に重なり合うようにすることができ、そのようにしておくと、使用時の清潔感がいっそう確実な保たれる。

【0008】また、起立姿勢での背もたれ部の上部がヘッドレストとなるように構成することもできる。そのようにしておくと、座部に座った人の頭部ないし首部がヘッドレストによって支えられるので座り心地のよい椅子となる。

【0009】本発明の椅子において、背もたれ部の背面の防水性や耐腐蝕性は、その背面素材に防水性と耐腐蝕性とを有する材料を用いることによって付与することができる。そのような材料として、たとえば珪藻やセラミックス、ステンレス、防錆アルミ、耐候性のよいプラスチックなどがある。

【0010】背もたれ部の背面の防水性は、その背面に施された防水処理によって付与されていてもよい。また、背もたれ部の背面の耐腐蝕性は、その背面に施された耐腐蝕性処理によって付与されていてもよい。防水処理や耐腐蝕性処理としては、合成樹脂の表面コーティング（たとえばアクリル系樹脂やフッ素系樹脂が好適）な

10

20

30

40

50

どの処理がある。

【0011】本発明の椅子は、地面から立設された脚体に座部が固定されていてもよい。このような椅子は、バス停や公園、広場、その他遊技場や競技場などのスタンドや観光地の展望台などの屋外据付け式の椅子として好適に使用できる。

【0012】本発明の椅子においては、背もたれ部を倒伏姿勢と起立姿勢との間で起倒するための把手がその背もたれ部に設けられていることが望ましく、そのようにしておくと、背もたれ部を倒伏姿勢から起立姿勢にしたり起立姿勢から倒伏姿勢にしたりする操作の利便性が向上する。

【0013】

【発明の実施の形態】図1は本発明の実施の一形態を示す使用状態で椅子Aを正面から見た説明図、図2は使用状態または非使用状態での図1の椅子Aを側面から見た説明図、図3は非使用状態での図1の椅子Aを正面から見た説明図である。

【0014】この椅子Aは、座部1の周辺後部に、図示していないヒンジを介して背もたれ部2が連結されており、この背もたれ部2は、座部1から立ち上がる起立姿勢（図1および図2仮想線参照）と座部1に重なる倒伏姿勢（図2実線および図3参照）との間で起倒可能になっている。

【0015】上記背もたれ部2は、背板部21と、その背板部21の左右両側部からひさし状に張り出した側板部22、22と、背板部21の上辺部から張り出した膨出部24とを備えている。背板部21は座部1の上面（座面）12のほぼ全体を覆う大きさになっており、背もたれ部2がヒンジ付近を中心に前倒しされて図2や図3実線のように倒伏姿勢になされたときには、その背板部21が上面12のほぼ全体を覆うようになっている。また、左右の側板部22、22や膨出部24は、背もたれ部2が図2や図3実線のように倒伏姿勢になっているときには、座部1の側面13の略全体を覆うようになっている。

【0016】背もたれ部2の背面23には防水性と耐腐蝕性が付与されている。背もたれ部2の背面23に防水性や耐腐蝕性を付与する手段としては、背もたれ部2の背面素材に防水性と耐腐蝕性とを有する材料を用いることが有効であり、そのような材料として、たとえば琺瑯やセラミックス、ステンレス、防錆アルミ、耐候性のよいプラスチックなどを使用できる。また、背面素材自体が防水性を持っていない場合には、その背面素材の背面に防水処理を施しておけばよい。同様に、背面素材自体が耐腐蝕性を持っていない場合は、その背面素材の表面に耐腐蝕性処理を施しておけばよい。防水処理や耐腐蝕性処理としては、合成樹脂の表面コーティング（たとえばアクリル系樹脂やフッ素系樹脂が好適）を施しておくことが有効であり、特に背面素材が金属である場合には

めっき処理や塗装処理を施しておくことが有効である。

【0017】一方、背もたれ部2の背もたれ面25の素材は、特に防水性や耐腐蝕性にする必要は必ずしもないが、長期使用を考えると、ごみや埃が付着しにくく、防水性のある素材を選択することが得策である。背もたれ部2の背もたれ面25には布地や合成皮革などが使用されるが、防水性があり、肌触りのよいものが特に好ましい。布地などの場合、その表面は浸水加工をすることで耐汚染性をよくするために静電防止加工をするなどの処理をするのが望ましい。このような処理をすることによって、たとえ、ごみや埃が付着した場合でもそれを容易に拭き取りやすくなる。

【0018】図1や図2仮想線で示したように、起立姿勢になされた背もたれ部2の上部には、ヘッドレストとして利用することができるようになっている。

【0019】以上説明した椅子Aは、その座部1が地面から立設された脚体4に固定されている。

【0020】上記構成の椅子Aにおいて、背もたれ部2を倒伏姿勢にすると、図2や図3のように背もたれ部2が座部1の上面12および側面13を覆い、しかも背もたれ部2の内側面の一部または全部が座部の側面13と密閉状態になり合う。このような重なり状態になるようにしておくと、座部1が雨水に濡れたり風雨にさらされたり鳥の糞が付着して汚れたりすることがなくなり、同時に背もたれ部2の背もたれ面が雨水に濡れたり風雨にさらされて汚れたり鳥の糞が付着して汚れたりすることがなくなる。特に、背もたれ部2の背面23に防水性が付与されているので、背もたれ部25を肌触りのよい布地などの吸水性を有する素材で作っていても、その背もたれ部2を浸透して背もたれ面や座部1に雨水が達することがなく、それらの箇所が濡れないで済むという利点がある。

【0021】この実施形態の椅子Aにおいては、起立姿勢になされた背もたれ部2の上部に位置する膨出部24を、座部1に座った人の頭部ないし首部を支えるヘッドレストとして利用できるので、腰掛けたときの座り心地の良いものとなる。また、図2や図3に示したように、背もたれ部2に把手9を設けておき、この把手9を手で持って背もたれ部2を倒伏姿勢と起立姿勢との間で起倒できるようにしておくと、背もたれ部2を倒伏姿勢から起立姿勢にしたり起立姿勢から倒伏姿勢にしたりする操作の利便性が向上する。

【0022】上記したような作用を発揮する椅子を、安価に提供するためには、座部1や背もたれ部2にプラスチック成形体を用いることが得策である。その反面、座部1や背もたれ部2を事務用の椅子や屋内で通常用いられている椅子などに類似する形にすることも可能である。すなわち、座部1や背もたれ部2にスプリングや弾力性を有する合成樹脂発泡体を内蔵して休息ないし安息に適したクッション性を具備させてもよく、また、それ

らの外皮に肌触りのよい布地や天然皮革または合成皮革などの素材を使ってもよい。

【0023】図4は本発明の他の実施形態による椅子において、倒伏姿勢にした背もたれ部2が座部1の上面12および側面13を覆っていて、座部1の側面12と背もたれ部2の内側面の一部または全部が密閉状態に重なり合っているときの好ましい状態の椅子中央の断面を説明的に示してある。この実施形態の椅子Aにおいて、座部1は防錆処理した鋼板やステンレス鋼板などで作られて耐腐蝕性に富む金属製の骨格部15と合成皮革などの肌触りのよい座面素材16と座部1に装填された柔軟な合成樹脂発泡体などとなるクッション材17とを備えている。これに対し背もたれ部2は、鋼板やステンレス鋼板などで作られて耐腐蝕性に富む金属製の背面材26と合成皮革などの肌触りのよい背もたれ素材27と背もたれ部2に装填された柔軟な合成樹脂発泡体などとなるクッション材28とを備えている。そして、同図のように背もたれ部2を倒伏姿勢にしてその背もたれ部2で座部1の上面12および側面13を覆わせるときには、座部1の側面13の下縁部13aに背もたれ部2の周縁部2aが密着するようになっている。

【0024】背もたれ部2が倒伏姿勢のときに座部1の側面13と背もたれ部2の内側面の一部または全部が図4の状態に密閉状態に重なり合うようになっていると、たとえ下からの風雨により泥や砂が撥ね上げられたとしても、座部1の上面12や側面13などの人の接触する可能性のある箇所が泥や砂で汚れて座れなくなるという事態が起こらないという利点がある。

【0025】図5は本発明の他の実施形態である長椅子状に構成した椅子Aを概略的に示してある。同図の椅子Aにおいて、それが長椅子状である点を除いた他の構成は、図1～図3で説明したものに準じる構成にすることができるので、同一または相応する部分に同一符号を付して詳細な説明を省略する。

【0026】本発明に係る椅子において、座部や背もたれ部に感圧センサーや光センサーを取り付け、そのセンサーによって人が腰掛けているか否かを認識できるようにしたりすることは自由である。また、それらのセンサ\*

\*を取り付けた椅子において、背もたれ部が起立姿勢になっているにもかかわらずセンサーが人を認識していないときは、発光やブザー音などで背もたれ部を倒伏姿勢にすることを促すような方式を採用することも可能である。また、風雨の強いときに背もたれ部が風の方によって起立姿勢にならないようにするロック機構を設けておくことが望ましい。

【0027】

【発明の効果】本発明によると、背もたれ部を倒伏姿勢にしておくことによって座部や背もたれ面が雨水に濡れたり埃や鳥の糞で汚れたりすることを防止できるので、座部や背もたれ面が常に清潔に保たれ、利用者はいつでも躊躇なく背もたれ部を起立姿勢にした後、座部に腰掛けて休憩することができる。したがって、座部や背もたれ部を肌触りのよい素材で作ることができるようになり、高齢化が急速に進んで老人人口が増加している我が国の現状に鑑みてきわめて有益である。また、身障者にとっても有益なものになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態を示す使用状態での椅子を正面から見た説明図である。

【図2】使用状態または非使用状態での図1の椅子を側面から見た説明図である。

【図3】非使用状態での図1の椅子を正面から見た説明図である。

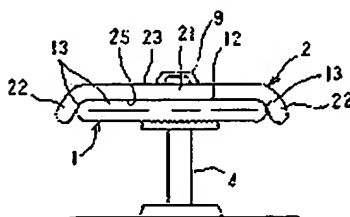
【図4】本発明の他の実施形態の椅子の中央部分の断面を概略的に示した説明図である。

【図5】本発明のさらに他の実施形態の椅子を概略的に示した説明図である。

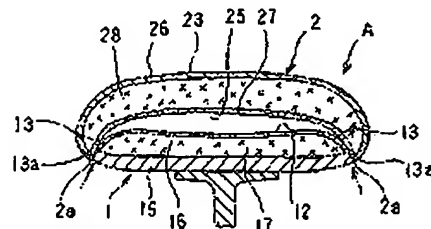
【符号の説明】

- A 椅子
- 1 座部
- 2 背もたれ部
- 4 脚体
- 12 座部の上面
- 13 座部の側面
- 23 背もたれ部の背面
- 24 膨出部（ヘッドレスト）

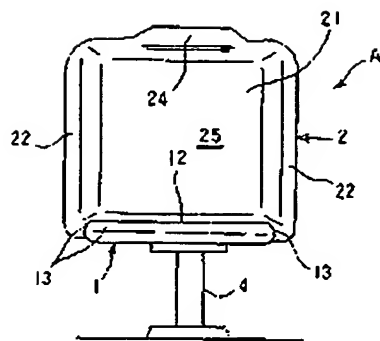
【図3】



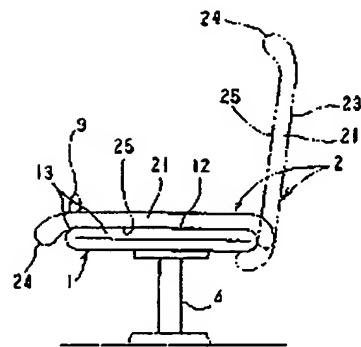
【図4】



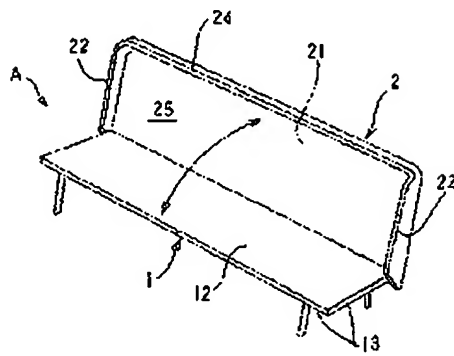
【図1】



【図2】



【図5】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**